

# 人づくりによる農村活性化支援事業（新規）

（農村資源発見・活用のための教育プログラム開発及び人材育成）

## 1. 趣 旨

- (1) 農村の活性化に向けて、地域住民が農村内に存する地場資源を活用し、産業振興、コミュニティビジネス、グリーンツーリズム等により農村の活性化を図った事例が各地で生まれ、農村振興における地場資源活用の有用性が認められてきている。こうした農村資源の価値は、外部の有識者等の助言によって発見され、地域の活性化に結びついた事例もあるが、農村資源の収奪や一部切り売りのみに終わる場合もあり、地域全体の活性化のためには地域住民による内発的な発見と地域に根差した活用が望ましいとされている。
- (2) しかし、こうした農村の地場資源は、地域住民にとってはありふれたものであるために、実は農村に豊富な地場資源がありながらも地域の住民自身がその価値に気づかないことが多く、こうした価値をいかに発見するかが課題とされている。また、資源があっても、それを活用できる人材が見つげ出せないことも多い。一方、特に過疎地域や島嶼部においては、地域住民自身が自らの地域に「何もない」「ありふれたものしかない」という意識を持っていることが多く、それを見て育つ子供もまた地域への誇りを持ってないことが、青年層が都市へと流出してしまい、地域に定着しない遠因ともなっている。
- (3) 本事業では、総合学習や各教科の授業等において地域を教材として学び、地域に根差した知識を身につけることを通じて、子供たち自身の手による農村の地場資源発見に至るまでの教育プログラムの開発を行う。こうした地場資源が、自らの地域において地域産業やコミュニティビジネス等として活かされることを学ぶことにより、将来の青年層の地元への定着にも資する。
- (4) あわせて、一定の企画・ビジネスノウハウを有し、地方へのUJイターンを希望している都市在勤者等に対し、農村地域での起業や体験交流事業等に必要な知識等の研修を行うことにより、農村地域における地域づくり、産業振興を担う人材の育成を行う。

## 2. 事業内容

- (1) 検討会の開催  
学識経験者、有識者、学校教師等からなる検討会の開催  
農村資源活用先行事例地区の研究、現地調査、現地検討会の実施  
農村の地場資源を発見するための教育プログラムの開発
- (2) モデル授業の実施  
本事業に関心を持つ市町村等に対するアンケート調査  
協力校におけるモデル授業の実施及びその結果を踏まえた教育プログラム案の改良
- (3) 農村資源を活かした産地ブランドづくり、起業化支援  
農村資源を活かした産地ブランドづくり、起業化プログラムの検討  
農村資源を活かした地域づくり手法についての情報提供
- (4) 地域産業マネージャーの育成  
民間企業等における実務経験を有し、地方にUJイターンを希望する者等を対象に、地域産業マネージャーとして農村地域での地域づくり、起業、産業振興等について地域をリードして主体的に活動できる人材を育成するための研修等を実施

## 3. 事業実施主体等

- (1) 事業実施主体：財団法人都市農山漁村交流活性化機構
- (2) 補助率：定額
- (3) 事業実施期間：平成18年度～平成20年度

## 4. 平成18年度概算決定額

19,049(      -      )千円

【担当課：農村振興局企画部農村政策課】